

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-71C	A-11C	16-118
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門		
<b>題名（原題／訳）</b>		
Risk of second primary cancer associated with pre-diagnostic smoking, alcohol, and obesity in women with keratinocyte carcinoma. 角化細胞癌の既往のある女性における、喫煙、飲酒、肥満の二次原発癌への危険性		
<b>執筆者</b>		
Park SM, Li T, Wu S, Li WQ, Qureshi AA, Stampfer M, Cho E.		
<b>掲載誌</b>		
Cancer Epidemiol. 2017 Apr;47:106-113. doi: 10.1016/j.canep.2017.02.002. Epub 2017 Feb 24.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
角化細胞癌、二次原発癌、喫煙、飲酒、肥満		28242577
<b>要 旨</b>		
<b>背景：</b>		
基底細胞癌および扁平上皮癌を含む角化細胞癌は、二次原発癌（癌の既往歴のある人に新たにできた原発性癌）の発症と関連することが報告されている。しかし、その理由は明らかでない。本研究では、角化細胞癌患者において、その診断前の喫煙、飲酒、肥満の状況が、その後の二次原発癌発症に及ぼす影響について検討した。		
<b>方法：</b>		
Nurses' Health Study は 1976 年に米国の 121,700 人の 30～55 歳の女性看護師を対象とした調査であり、アンケートの郵送によって開始時および 2 年ごとの追跡調査を行った。本研究では、癌の既往がなく、1984 年～2010 年の間に角化細胞癌の診断を自己申告した 15,628 人について分析した。主要評価項目を二次原発癌の新規発症とし、2012 年 6 月まで追跡した。喫煙、飲酒、体重については、角化細胞癌と診断された直前のアンケートの情報をを用いた。喫煙習慣に関しては、現在喫煙、禁煙、生涯非喫煙を区別し、現在喫煙者は 1 日あたりの喫煙本数によって 3 群に分けた。飲酒習慣については 1 日のアルコール摂取量を算出し、肥満については body mass index を算出し、各々 5 群に分けた。統計解析には Cox 比例ハザードモデルを用いた。		
<b>結果：</b>		
二次原発癌の発症は 2,839 例で認められた。非喫煙者と比較して、現在喫煙者では全ての二次原発癌なかでも肺癌、結腸直腸癌、膀胱癌の発症リスクが有意に高かった(全ての二次原発癌ハザード比[HR]1.72; 95%信頼区間[CI]1.55-1.92、肺 HR 12.27; 95%CI 8.16-18.47、結腸直腸 HR 1.56; 95%CI 1.04-2.34、膀胱 HR 2.47; 95%CI 1.26-4.86)。また、BMI と二次原発癌の全発症および乳癌、子宮内膜癌とに正の関連を認めた(傾向 P 値それぞれ<0.001、0.02、<0.001)。非飲酒者と比較して飲酒量がアルコール換算 30g/日以上群では、二次原発癌の全発症リスクがわずかに高かった(HR 1.20; 95%CI 1.02-1.41)。		
<b>結論：</b>		
角化細胞癌診断前の喫煙習慣、飲酒習慣、肥満は二次原発癌の発症と関連していた。		